



大田区 シティプロモーション戦略 (概要版)

Catching O+α(Ota) Promotion



令和元年5月



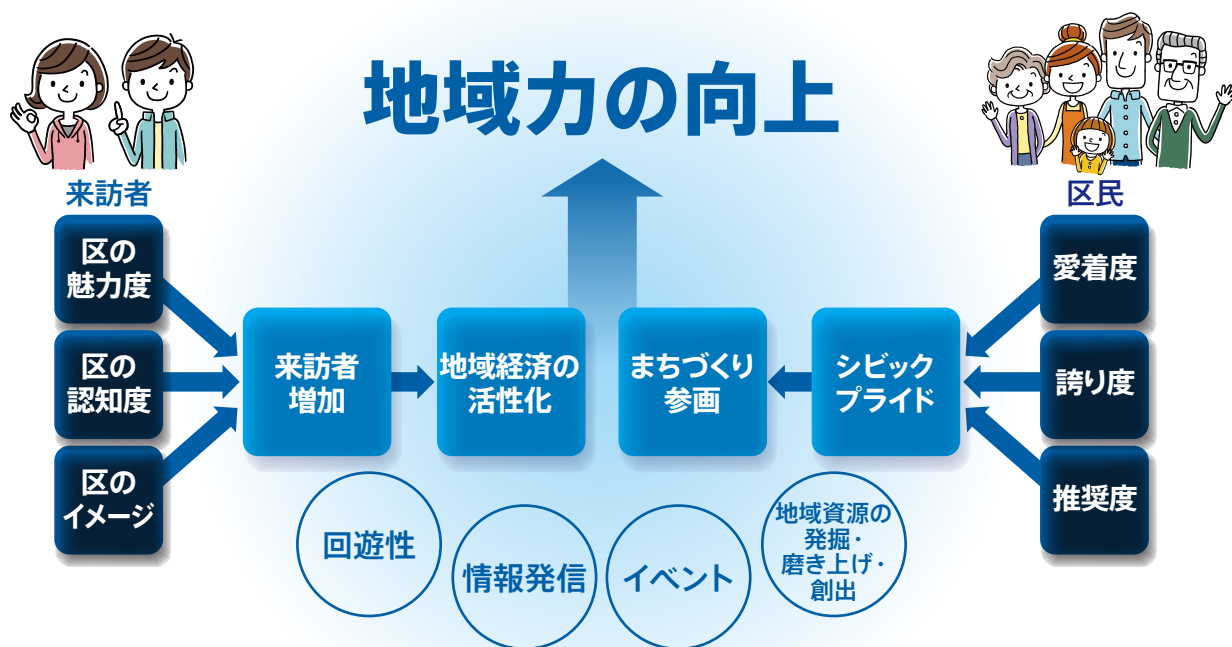
第Ⅰ章 戦略策定

1 戦略策定の趣旨

- 区は、これまで個別に行ってきた多様な魅力・地域資源の情報を一元化し、より戦略的かつ効果的に発信していくため、「大田区シティプロモーション戦略」を策定するに至りました。
- 大田区に魅力を感じ国内外からの来訪者増加・区内経済の好循環からの地域力の向上、更には区民が愛着・誇りをもてるまちを目指します。

2 シティプロモーションの目的と背景

- ラグビーワールドカップ2019™や2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会などに向けて、より多くの来訪者が羽田空港を利用して大田区を訪れることが確実視されています。
- これらの契機を最大のチャンスと捉え、プロモーション戦略を策定し、区の認知度・イメージの向上を図り、地域経済の活性化へつなげます。
- また区民には大田区に対する愛着・誇りの向上や、自信を持って我がまち自慢ができる「シビックプライド」の醸成へつなげます。



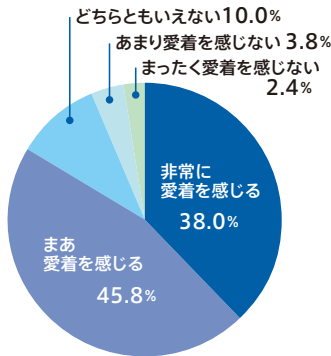
概略イメージ図

3 大田区の現状と課題

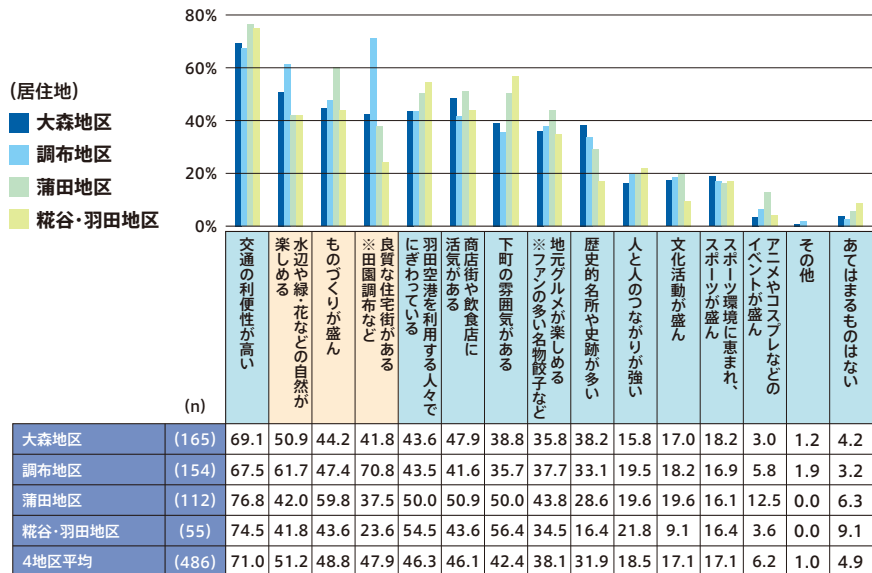
【区民】

- 区民の大田区への愛着度は、8割強となっています。
- 居住地別に見ると、いずれの地区でも「交通の利便性が高い」への関心が高く、自身の居住地以外への関心は薄い傾向が見られます。

■大田区に対する愛着度(%)



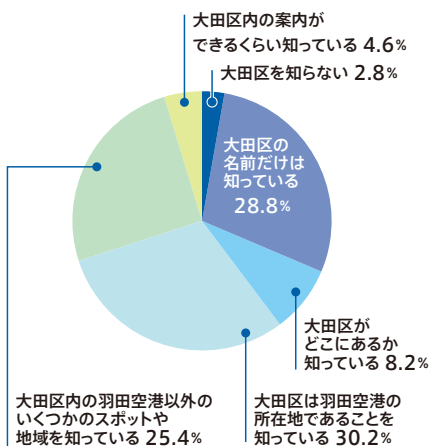
■「大田区の魅力」についての関心(区内居住地別)



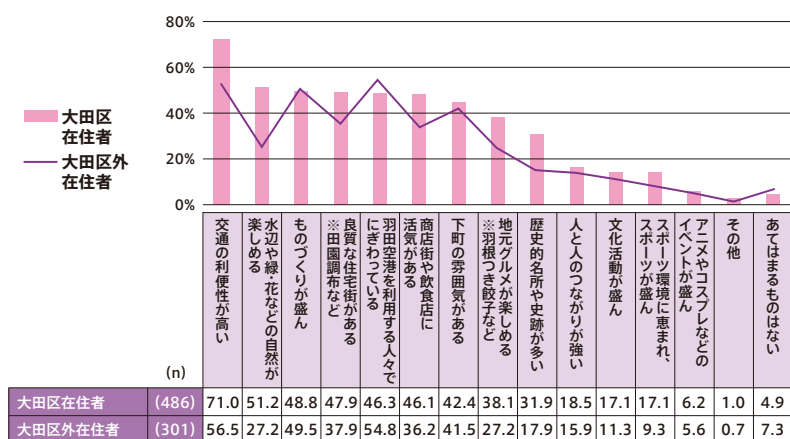
【区外在住者】

- 「大田区」という名前は比較的認知されていますが、詳しくはあまり知られていません。
- 「交通の利便性が高い」「羽田空港を利用する人々でにぎわっている」「ものづくりが盛ん」への関心が高くなっています。
- 「水辺の緑・花などの自然が楽しめる」「地元グルメが楽しめる(羽根つき餃子など)」「歴史的名所や史跡が多い」などについては、区民と区外在住者の差が大きくなっています。

■「大田区」の認知度(%)



■「大田区の魅力」についての関心(区民・区外在住者別)



第Ⅱ章 戦略策定方針

1 基本方針

①大田区の認知・イメージの向上

より多くの人々が大田区に関する情報に接触するよう、これまで以上に積極的かつ効果的に情報発信を行います。

②来訪先として選ばれるまちへ

陸と海と空の交通結節点として、地域資源の掘り起し、磨き上げ、組み合わせ等を通じ、多彩なおおたの魅力の向上を図ります。

③住む場所、働く場所として選ばれるまちへ

生活の場としての魅力を十分に発信できていないと推察されることから、生活や産業に関する情報の発信をより一層強化します。

2 戦略の目標とターゲット

①目標

日本の玄関である羽田空港を擁する地の利を最大限に活かし、国内外からの来訪者の区内回遊、区民との交流を促進し、繰り返し訪れたくなるまち、区民が日常生活を楽しみ、区への愛着や誇りを持ち、自信を持って自慢できるまちをつくります。

②ターゲット

- 羽田空港を利用する国内外からの来訪者
- 大田区の持つ多様な魅力に気付いていない区民
- 大田区のシティプロモーション気運の高まりを受け、より積極的に事業展開や地域貢献を行いたいと考える事業者・団体等

③大田区の特徴や強み (Catching O+α Promotion)

区の多様な特徴や強みを8要素に整理し、大田区のシティプロモーションの総称を、8要素の頭文字をとり、Catching O+α (Ota) Promotionとします。



Culture
(文化)



Airport
(空港)



Tourism
(観光)



Community
(暮らし)



Health&
Sports
(健康)



Industry
(産業)



Nature
(自然)



Gourmet
(食)

3 計画期間

2019年度から2028年度までの10年間とし、社会情勢の変化などの状況に応じて随時見直しを行うこととします。

4 指標

- 指標1：区民のシビックプライドの醸成に対する指標
- 指標2：大田区来訪者の対外的な認知度やイメージの向上に対する指標

第Ⅲ章 施策展開の方向性

1 主な分野

①産業分野

大田区は、古くから「国内有数の町工場の集積地」として知られ、その技術は、日本のみならず、世界のものづくりを支えている。今後、こうした技術や製品を効果的に外部発信することで、認知度やイメージ向上等を図ります。

また、都内自治体では最大数を誇る商店街は、地域の賑わい創出には欠かせないものです。特に、「食」は区内外からの来訪のきっかけとなりやすい分野であり、ファンの多い名物の餃子や最近ではトンカツも人気を集めています。

②観光分野

区には、羽田空港をはじめ、池上本門寺、大田花き市場など多様でユニークな観光資源が点在しています。これらを踏まえ、区内各所への来訪者増加、回遊性向上に資する取組を行い、新しい形の観光資源創出にも力を注いでいきます。

③生活分野

東京23区最大の面積を誇る大田区は、日本の縮図と言われるほど、地域ごとに異なる魅力を併せ持っています。区民に向けて、あらためて区の多彩な魅力を伝え、区の良さを再認識してもらえるような取組を行います。

2 ブランドメッセージ・ロゴマーク等

ブランドメッセージに「UniqueOta／ユニークおおた」という言葉を設定しました。

「Unique」は英語で、唯一の、類まれな、独自のなどの意味があり、「UniqueOta」は「大田区ならではの」と訳されます。このブランドメッセージやステートメントを活用して、おおたの魅力を区内外へ発信していきます。

ロゴマークは、ブランドメッセージ（UniqueOta／ユニークおおた）を視覚的に印象づけるために図案化したものです。日本工学院専門学校の学生へロゴマークの制作を依頼し、一次審査を通過した3作品より区民投票で選定しました。

ロゴマーク



ステートメント

勝海舟が愛した 洗足池
由緒ある名刹 門前町池上
海苔薫る ふるさとの浜辺

キネマとハイカラなまち 蒲田
昭和文学のロマン 馬込文士村
銀杏並木輝く 田園調布

水辺とスポーツの拠点連なる
多摩川・臨海部
首都東京に湧く天然温泉
笑顔あふれる商店街
心豊かにふれあう親切な人々

MADE IN OTA のものづくり
近未来都市 羽田空港
未来へ進化し続けるまち

ここにしかない
ユニークおおた

3 主な施策・取組み

①効果的な情報発信

①専用ホームページの開設

区の魅力を一元化し、区内外へ向けて情報発信を行います。既存の行政ホームページとは異なり、事業者情報など区全体の情報発信を行います。

②メディアの活用

メディア露出を高めることで、区の認知度・魅力度等の向上を図ります。従来のPRに加え、新しいPR手法も導入することで、効果的な情報発信を行います。



②イベント等の活用

区主催イベント・民間企業主催のイベントにより区の魅力発信を行いつつ、継続性・発展性のあるイベントを目指します。さらに、大田区総合体育館で開催されるスポーツイベントとの連携強化や集客力の高いイベントを誘致するなど、区がイベント時に街というプラットフォームを提供することで、来訪者の回遊性向上や商店街の活性化等による地域経済の活性化へとつなげます。



③地域資源の発掘・磨き上げ・創出

区内外の方々に、地域資源を活用（来訪、体験等）してもらうために、多彩な魅力や、隠れた大田区ならではの地域資源を発掘し、有効活用する仕組み作りを行います。また、この地域資源の認知度の向上、来訪者の増加へつなげるため、興味・関心や来訪意欲が高まるような情報発信を、効果的・積極的に行います。



※上記3つの取組みを軸としたアクションプラン（2019年度から3年間）も併せて作成し、産業・観光・生活の3分野について効果的・効率的に推進する。

第Ⅳ章 推進体制

1 推進体制

大田区全体が一丸となって、それぞれが当事者として大田区シティプロモーション(Catching O+α (Ota) Promotion) に取組み、積極的な情報発信を行うことで、地域力の向上を目指すための推進体制の構築を行います。

①区

区は、大田区シティプロモーションの中心的担い手として、区民や団体、事業者等との連携・調整を主体的に実施し、シティプロモーションをリードします。

②区民

区民は、個々の知識・アイデア等を生かした情報発信や、来訪者との交流、おもてなしに努める気運を高め、自発的に活動することが望まれます。

③事業者や団体等

事業者等は、個々が持つ強みを生かし、新たな地域資源づくりへの挑戦等による区の魅力アップに努めつつ、区の情報発信への協力・連携が望まれます。

2 効果検証と見直し

アクションプランに掲げる事業について、区は区民や事業者、有識者等の意見を踏まえつつ定期的な効果検証を行い、社会状況の変化など最新の状況を加味し、課題の抽出・分析及び課題解決のための必要な見直しを行いながら推進することで、大田区シティプロモーションの成果を確実なものとしします。

また、目標達成のための指標を設定し、評価を実施します。



大田区シティプロモーション戦略(概要版)

〔令和元年度～令和10年度〕

令和元年5月発行

大田区企画経営部広聴広報課

〒144-8621 東京都大田区蒲田5-13-14

電話：03-5744-1132

FAX：03-5744-1503